

指定管理者管理運営評価シート

別紙 2

令和5年度

1 施設の概要

| | |
|--------------------|-----------------------------------|
| 指定管理施設名 (施設所管課) | 稲美町立いなみ野水辺の里公園 (教育政策部 生涯学習課) |
| 指定管理者 | NPO 法人 環境ユーイングてんま 代表者氏名 若松 千恵子 |
| 指定管理期間 | 平成31年4月1日 ~ 令和6年3月31日 |
| 指定管理委託料 | 13,432,000円 (令和5年度) |

2 指定管理者による自己評価

| 評価項目 | 事業計画 | 実績 | 自己評価 |
|------|---------------|--|--|
| 運営状況 | ・開館日数・開館時間等 | <ul style="list-style-type: none"> ・稲美町立いなみ野水辺の里公園の管理運営に関する規則第2条第3条を遵守した。 ・開館日数は307日 ・閉館日数は59日 ・又、ホタル一般公開のため5/9~5/31の延べ23日間とセミの羽化観察会のための7/29は規則に従い閉園を21時まで延長した。 | <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・通常時は、毎月曜日休館で日数・時間とも問題なく適切であった。 ・ホタルの一般公開期間とセミの羽化観察会の時間延長は適切であった。 |
| | ・委託事業、自主事業の実施 | <ul style="list-style-type: none"> ・稲美町立いなみ野水辺の里公園指定管理者協定書並びに仕様書に従い本業務を実施した。具体的には下記事業を実施、参加者への支援指導を行った。 ・食育事業「わが家のじゃがいも畑」(3回) ・自然体験イベント・セミナーの実施 「草花で染めよう」「セミ羽化観察会」「それいけ!バッタ取り大会」「冬の虫って何してる」「そうめん流しとワイワイ夏祭り!」 ・特別企画として「ゴールデンウィーク特集」「スズムシを育てよう」「夏休みお助け工作教室」「クリスマスリースを作ろう」「虫むしくらぶ(6回)」を実施。 ・いなみっこ広場や諸団体他NPO法人等との連携協力事業を実施。 【学習棟内の展示】 ①常設展示は、観察コーナー調べるコーナー・遊ぶコーナー生きもの展示があり、常に良好な状態を維持した。 ②季節展示は6回の展示替えを行った。 【魚のおうち・ちょうのおうち管理】 日常管理をし、ボランティアの協力を得て生き物の補充を行う等一定の維持管理を行った。 【ホタル育成事業】 ・R5/1月に地域の子も達と | <p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東播磨管内の行政、他NPO団体と日常的に連携し協力体制を維持、強化することで事業運営の向上につながった。 ・従来から蓄積した経験と職員研修や資格取得などで得た幅広い知識で事業を推進することができた。 ・いずれのイベント、セミナーも応募人数を上回る申し込みがある。リピーターも多くアンケート結果の分析により、実績が大いに評価されていると考えている。 ・他団体の受入れや出張講座などは、他団体との協力体制を維持するうえでも必要であり継続した。 ・展示では、季節のものを取り入れたり、手作りのものを展示した。又、生きもの展示や観察に目を向けるように工夫した。 【ホタル】 ・今年度の成功で毎年安定した出現数を確保する足掛かりとなった。 ・幼虫飼育技術も習得した。 ・地域にとっても当方にとっても有意義な協働である。 |

| | | | | |
|--------|--|--|---|--|
| | | 3,300匹の幼虫を放流しR5/5月のピーク時は400匹以上の飛翔を確認した。 | | |
| | ・利用者の満足度 | <ul style="list-style-type: none"> ・利用者との直接会話やアンケート等から判断して不満は少ない。 ・すべてのイベント・セミナーで申込者が増加し続けている。(募集後即定員に達するセミナーがある) ・家族による昆虫採集、水生生物捕り、どんぐり拾いなどの自然遊びや団らんの場として周知されつつある。 ・休日のボランティアの活躍で虫取り指導なども充実している。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の園内利用はほかの利用者の目にも微笑ましく、続けられるよう安全に確保したい。安全の確保については、保護者の意見も聞き対応した。 ・さらに当公園の知名度を高めたり、環境管理の良さ、イベントの楽しさ等あらゆるプラス要素を利用者の満足度に直結させ来園者の増加につなげたい。 |
| | ・その他(特記事項) | <ul style="list-style-type: none"> ・トライやるウィーク(5日間)中学生4人を受け入れ動植物の世話、掃除、など自然環境の大切さを指導した。 ・いなみっこ広場との協働カボチャを育てよう、ホタル放流、公園散歩など実施 ・ふれあい教室の受け入れ(2回) ・国際交流協会支援 藍染体験、そうめん流し、たこ焼き、うちわ絵付けなど楽しんだ。 ・NPO法人ころあい自然楽校との協働 親子10組が参加し、藍染やリース作りを楽しむ。 ・外部へ出張事業 木片にサンタを描くなど指導。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・ここ数年の取り組みに於いて、町行政、県民局、ため池ミュージアム、NPO法人、専門講師等との連携が濃密になり、協働事業としての成果が表面化するに至ったと考える。 ・これらの実績をベースとして活かしさらなる運営の上積みを図らなければならない。 ・共感できるほかに団体との交流により得られるものも多く、当法人社員のキャリアユースと考えており、仲間づくりを進めたい。 |
| 施設維持管理 | <ul style="list-style-type: none"> ・清掃 ・植栽等管理 ・警備 ・設備保守 ・修繕 | <ul style="list-style-type: none"> ・清掃及び警備は委託とし、連絡協議により円滑に管理できている。 ・警備会社からの緊急連絡に円滑に対応した。 ・植栽管理は直営式とし、季節に応じた花壇整備を行った。 ・園内の危険枯れ枝、折枝、高木の伐採計画を作成、実施した。 ・園内の不必要な雑草除去は、必要に応じ社員により順次実施した。 ・保守修繕は、日常点検により早めの対応を実施した。 ・公園西側斜面の草刈管理は岡と土地改良区との共同作業とし、委託事業として実施した。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・園内整備は、セミナーに対応しながら計画的に、草刈りや枝の剪定を行った。 ・建物、橋、護岸などの構造物は、安全上重要であり、適宜点検を行い、報告を行った、また、小規模修理を社員が実施した。 ・草刈などは、生き物の生育に考慮し、時季、範囲を明確にして実施した。 ・大木、高木の伐採などは地元専門業者に委託してもらった。 |
| | ・その他(特記事項) (施設修繕) | <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化に伴い学習棟をはじめ各所の修繕が不可欠。町と協議の上随時補修、木材補修塗料などの塗装を実施。常に点検等、注視した。 | A | <ul style="list-style-type: none"> ・老朽化対応等は応急処置により順次修理を実施。 ・大規模又は主たる構造物など修理は協議必要。 |
| 利用状況 | ・利用者数 | 58,286人/年 (実働307日) | A | 昨年比 2.63%増加 |
| | ・施設稼働率 | 100%(参考;189.8人/日) | A | 昨年比4.8人/日増 |

| | | | | |
|------|----------------|---|---|--|
| 収支状況 | ・収支計画 | ・指定管理料と各種補助金やイベント・セミナーの参加費などの歳入に合う支出計画を実施した。 | A | ・毎月、予実管理を行い、収支状況を把握しており予算管理上の問題はない。 |
| | ・経費削減の取組み | ・社員の特性を活かし、できることは社員で対応した。 | A | ・地域からの物資協力などもあり、効果的な削減ができた。 |
| 運営体制 | ・人員配置 | ・全ての運営事業並びに公園の維持管理に支障のないよう適切に人員配置した。 大きなイベント等社員で不足する範囲はボランティアの協力で対応した。 | A | ・通常は、シフト管理にて複数人出勤し、事務処理や来園者対応の体制をとった。イベントなどは全社員で対応、草刈りなど公園管理作業は2～3日/月、計画的に配置。 ・社員が新たな資格(NACS-J)を取得しイベント等の内容が拡充した。 |
| | ・危機管理体制 | ・防犯と景観共に留意して樹木の伐採を行った。 ・台風被害の折れ枝等は、速やかに除去し飛ばないように処置した。 ・スズメバチなどは、日常点検及び来園者情報により速やかに処置した。除虫剤を常備し緊急処置に備えている。 ・樹木伐採チェックをし、生涯学習課に提出した。 | A | ・危機管理体制の充実。 災害を想定した点検と勤務対応を心がける。 ・来園者の安全を第一に考えた管理を徹底している。 |
| | ・苦情要望等への対応 | ・特になかった。 | A | ・細やかな要求や質問に対しても丁寧に対応した。 |
| | ・個人情報の保護及び情報公開 | ・コンプライアンスの事例による周知。情報公開への確認。 ・個人情報保護については常に定例会で注意を促している。 | A | ・公園だよりやブログ、写真掲載などに対し、許諾を必須条件としている。 (全体確認済) |
| | ・その他(特記事項) | ・日常から地域と密接な交流を通じ、協働できる体制を維持した。 ・冬季に標本箱の消毒及び腐食した蝶の修復を継続。 | A | ・サポーターによる標本の整備により貴重な標本が大分よみがえった。今後も冬季に継続する予定。 |
| | | 総合評価 | A | ・水辺の里公園及び水族園常設展示施設の管理運営に係る協定書に従い、指定管理者としての能力を十分に活用し、地域住民等に対する文化活動及びレクリエーション活動を推進した。兵庫大学生ボランティアなど各種団体、地域住民との協働により事業運営を実施した。 |

3 施設所管課による一次評価

| | |
|------|---|
| 総合評価 | A |
|------|---|

施設の維持管理は、協定書等に基づき適正に行われており、自主事業ではボランティアやサポーターなどの協力を得て準備から行うことにより、経費の削減や地域との協働を図っている。

ホタル育成事業では、一般公開時に、開園時間を延ばして、数多くのホタルの飛翔が見られた。また、一貫したホタル育成を目指して、卵の孵化に成功、3,000匹を超える幼虫を水路に放流し、次年度のホタル飛翔へ繋げた。

昆虫や魚などの飼育や管理を適切に行っており、季節に応じて展示を替えるなど創意工夫をしている。

年度を通して、兵庫大学や各種団体と連携・協力をすることにより、豊かな自然のなかで安心して活動できる場所を提供しようとする姿勢は大いに評価できる。

今後も「水辺の里公園」の名にふさわしく自然に親しむことのできる公園として、より多くの住民の憩いの場となるよう切に期待する。

4 内部評価委員会による評価

| | |
|------|---|
| 総合評価 | A |
|------|---|

管理運営については、協定書通りに行われていて適正である。

他団体等と連携した協働事業や自主事業に取り組んでおり、イベント・セミナーの参加者が年々増加している点は評価できる。引き続き、利用者から寄せられた意見を運営に活かし、魅力的なイベントの開催やさらなる利用者の増加に期待する。

社員の資格取得等によりイベント等の拡充を図っていることは評価できる。アンケートの結果から各種イベントの参加者から高い満足度を得ていることが分かるので、今後もより魅力ある施設となることを期待する。

5 外部評価委員会による評価

| | |
|------|--|
| 総合評価 | |
|------|--|

| |
|--|
| |
|--|